

令和6年度 学校評価報告書(様式例)

1 今年度の重点目標

多様性の理解に基づく 共生的な態度の育成(人を大切にする子)・主体的な態度の育成(自分で考えて行動する子)

2 自己評価(今年度の重点目標、重点方策、「4つのC」の取組の重点等に対する自己評価)

今年度導入した朝の会と1時間目の間の15分間の漢字学習や読書活動による【モジュールの時間】は、進んで学習に取り組む機会につながってきている。また、児童の調査結果からの【先生が相談にのってくれる】のポイントが昨年度より評価が高まつたことも教員の時間的余裕につながったモジュール効果の一つであると考えている。加えて【授業がわかった・できるようになった】、いろいろな学習活動を楽しむ、自分の頑張っているところを認めてくれる、人に優しく接する、ありがとうを自分から言える】という、学習を楽しむ姿、人を大切にするさくらっここの姿を読み取ることができた。

今年度目指す教師像【知恵を出し合い、児童の成長を喜び合える教師】を明確に提示し、学校経営を進めてきた。今年度、教材研究、子供に向き合う時間の確保のため、日課変更を試みたが、その効果を実感している。一方、児童の【自分の考えや思いを伝える、進んで運動する】に課題が見られたので、学校全体で課題意識を持ち、改善に向けて頑張りたい。

柏市の4つのCは全て柏市の平均より上であるが、「学んだ結果、よく分かったこと、あまり分からなかったことを整理する。(振り返り)」、「友達に自分の考え・意見を説明する。(伝える力)」がやや低いので、改善するように次年度取り組みたい。

3 学校関係者評価 【評価日 令和7年2月18日 評価者 学校運営協議会委員】

保護者から【学校だより、HP等での学校の様子の周知、児童の安心・安全への取組、多様な学習の場の提供、地域に根ざした教育課程】の評価が高かつた。学校運営協議会委員が町探検・学区探検の引率・落ち葉掃の協力により、少しずつ保護者と委員が顔が見える関係となったことを実感している。

一方、身支度や学習準備、整とん、宿題(家庭学習)に【自分から取り組む】ことに課題を感じる保護者の方が多く見られた。第4回学校運営協議会の中で柏五中、高田小の学校評価の分析結果を聞いたが、3校とも【自主学習・家庭学習】に課題が見られている。本校では、3学期から特に【自ら取り組む】ができるように、児童を励ましてきたが、さらに3校の小中連携が必要であると感じている。具体策を3校で共に考えていきたい。

4 次年度に向けての改善方策

保護者、児童いずれも、おおむね80%以上の高評価であった。特に、昨年度課題であった【相談体制のさらなる充実】は、保護者・児童共に、改善を実感して頂けたようである。【授業でわかる・できるようになった】実感を持たせるために、【自分から考えや思いを伝えられるよう】に学校でも支援していく。また、保護者とともに子供たちの話を聞き、自分でできることは自分で取り組めるように、促していく。

5年目を迎えたコミュニティ・スクールが着実に保護者の理解を得ている。小中連携をさらに推進するために、具体策で連携を深めていきたい。また、今年度研修体制を大きく変更し、成果も実感できている。主体的に教員が取り組める研修をさらに推進し、【学び続ける教師】を支援していきたい。

☆添付書類 ①自己評価に関する記録 ②学校関係者評価に関する記録

*自己評価及び学校関係者評価を実施した場合には、自己評価の結果を踏まえての学校関係者評価であることから、双方の結果を一つの報告書にまとめることがのぞましい。